

## 1 平成29年度公募(第2回)の対象プログラム

プログラム名		対象とする研究開発課題	研究開発経費※ (年度当たりの上限額)	研究開発期間	備考
電波有効利用 促進型研究開発	先進的電波有効利用型 (社会展開促進型)	電波を用いたIoTシステムの構築や社会展開を促進し新たなワイヤレスビジネスの創出を意識した研究開発課題。	フェーズⅡ:3,000万円	フェーズⅡ:最長2か年度	-
	若手ワイヤレス研究者等 育成型	若手研究者又は中小企業の研究者が提案する電波の有効利用に資する先進的かつ独創的な研究開発課題。	フェーズⅠ:500万円	フェーズⅠ:1か年度	若手研究者 (39歳以下 等)、または 中小企業研 究者

※ 別途間接経費(直接経費の30%を上限)を配分。

# 採択評価の主なポイント

<p>先進的電波有効利用型</p>	<p>【電波を用いたIoTシステムの構築や社会展開を促進し新たなワイヤレスビジネスの創出を意識した研究開発課題】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 新しい電波利用の実現に向けた研究開発か</li><li>• 以下のいずれかの技術であって、おおむね5年以内に開発される技術として到達目標が明確に設定されているか<ul style="list-style-type: none"><li>a) 周波数を効率的に利用するための技術</li><li>b) 周波数の共同利用を促進するための技術</li><li>c) 高い周波数への移行を促進するための技術</li></ul></li><li>• 電波を用いたIoTシステムの構築を目指した研究開発、新たなワイヤレスビジネスの創出や社会実装を意識した研究開発か</li></ul>
<p>若手ワイヤレス研究者等育成型</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 新しい電波利用の実現に向けた研究開発か</li><li>• 以下のいずれかの技術であって、おおむね5年以内に開発される技術として到達目標が明確に設定されているか<ul style="list-style-type: none"><li>a) 周波数を効率的に利用するための技術</li><li>b) 周波数の共同利用を促進するための技術</li><li>c) 高い周波数への移行を促進するための技術</li></ul></li></ul>

詳細は提案要領及び評価の手引きをご参照ください。